

令和8年度 予算のお知らせ

去る2月19日に第143回組合会が開催され、令和8年度の事業計画と収支予算が可決されました。
保険料率は、健康保険料率は据え置き、介護保険料率は引き下げとなりました。

令和8年度の事業計画について

昨年は、国際情勢や金融環境の変化が企業経営や雇用環境に影響を及ぼし、国内では賃上げの動きが一定程度見られたものの、物価上昇の長期化により、現役世代を中心に生活実態の改善には至っていない状況が続いています。

我が国の国民医療費は、医療の高度化や薬剤の高額化に伴い毎年1兆円規模で増加して48兆円に達しました。就業人口の減少と高齢化の進行により、現役世代が高齢者医療制度へ負担する国への拠出金は一層厳しくなることが予想されます。

このため、政府には負担と給付のバランスに国民が納得できる社会保障制度の構築を求められています。

こうした中、令和8年度から新たな負担となる「子ども・子育て支援制度」が始まり、健康保険組合は国の代行機関として全国一律に賦課された支援金を徴収することになります。

当健保組合は、令和8年度においても、みなさまの健康保持・増進のため、疾病予防事業を第一義とし、健診受診率向上を図り、保健指導などを推進します。また、診療報酬明細書の点検や扶養者の適正な認定、ジェネリック医薬品の利用促進などにより、財政の健全化に努め、平成29年度以降の保険料率9.6%を維持し、協会けんぽより優位性を保った運営を行ってまいります。引き続きご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

おもな支出

納付金

高齢者の医療費として国へ拠出される納付金は37億7,418万円となり、保険料収入の41%が高齢者医療費に費やされます。

保険給付費

お医者さんにかかったときの窓口自己負担(2〜3割)以外の医療費、出産や傷病時の各種手当金などです。

高齢化や医療の高度化と薬剤の高額化などによる自然増に加え、前年度より2億8,147万円増の49億3,339万円を計上しました。

保険給付費は、みなさまの「こころがけ(ジェネリック医薬品の使用促進、適正な受診行動、健康の維持等)によって節減が可能です。引き続き、協力をお願ひいたします。

保健事業費

みなさまの健康づくりを推進するための費用として4億652万円を計上いたしました。

40歳以上の方に実施が義務づけられた特定健診を中心に、被扶養者の健診受診率向上のため、未受診者への受診勧奨を積極的に行います。とくに、特定健診の結果、保健指導が必要と



なった方への特定保健指導は、実施率の向上が国から求められ、著しく実施率が低い保険者には後期高齢者支援金に加算金(0.5〜10%)が課されるため、対象となった方は受診にご協力ください。

禁煙促進については、広報活動や禁煙外来の利用を促進し、健康企業宣言への取り組みについても情報発信を行います。さらに、電話やメールによる病気・出産・育児・介護などの相談事業に加え、メンタルヘルスについてはカウンセリングを実施し、心の病に対するケアを行い、一人ひとりの健康への配慮に努めます。

前年度に引き続き、健診データから糖尿病のリスクが高い方を対象に、生活習慣見直しのための保健指導を実施します。

みなさまの積極的なご利用をお願いします。

令和8年度予算

一般勘定

おもな収入

保険料収入

健保組合の事業は、みなさまと事業主からの保険料で運営されます。保険料の基礎となる被保険者数は、現状維持の16,800人、標準報酬月額と標準賞与額は令和7年度の決算見込みから若干の伸びをプラスして推計しました。

保険料率については、前年度と同率の9.6%に据え置いて予算を計上した結果、被保険者一人当たりの保険料は544,128円、保険料収入は91億4,136万円となりました。不足分は、前年度決算残金見込から3億円を繰越して対応します。

予算の基礎数値(一般勘定)

●被保険者数	16,800人
●平均標準報酬月額	396,000円(前年見込み+4,226円)
●平均賞与額	1,020,000円(前年見込み+13,896円)
●平均年齢	44.20歳
●被扶養者数	11,271人(被保険者1人当たり扶養率 0.67人)
●健康保険料率	9.6%(事業主・被保険者共に4.8%)
(内訳) 基本保険料率:5.563%、調整保険料率:0.128%、 特定保険料率*:3.909%	

*特定保険料率は高齢者の医療を支えるために、国への納付金に要する保険料率です。



令和8年度収入支出予算

%は収入・支出に占める割合
()内は被保険者1人当たり

収入支出予算額 96億7,031万円 被保険者1人当たり 575,614円

*%は収入・支出に占める割合 * ()内は被保険者1人当たり

